

都市設計・計画の 教育をめぐって

教育プログラムと方法

8月3日(土)9:00～12:00
17号館401教室

資料あり

司会……………小林英嗣(北海道大学)

副司会……………根上彰生(日本大学)

記録……………野中勝利(筑波大学)

1. 主旨説明……………北原理雄(千葉大学)

2. 主題解説

①学部における都市設計・計画の教育

……………野澤 康(工学院大学)

②都市設計の演習教育

……………小林正美(明治大学)

3. コメント

①行政・都市デザインの立場から

……………北沢 猛(東京大学)

②建築家の立場から

……………三井所清典(芝浦工業大学)

③市街地整備の立場から

……………高見沢邦郎(東京都立大学)

④市民参加の立場から

……………卯月盛夫(早稲田大学)

⑤都市デザイン実務の立場から

……………田中滋夫(都市デザイン)

4. まとめ……………北原理雄(前掲)

JABEE(日本技術者教育認定機構)の本格運用を前にして、都市計画分野では「都市設計・計画」を建築教育の中に適切に位置づける準備作業を進めている。本会における都市計画の位置は、広い意味での都市計画あるいは「Planning」の全領域をカバーするものではなく、かといって、限定されたプロジェクト、都市再開発事業など、狭い領域の都市計画の中に収まるものでもない。都市デザインをはじめ、まちづくりデザイン、環境・エコロジカルデザイン、さらに市民参加の都市計画という比較的新しい領域をカバーし、建築の設計・計画をベースに独自の役割を担っており、教育面でも、それに応じた位置づけを確立する必要に迫られている。現在、こうした背景を受け、いくつかの大学で、JABEE対応を念頭に、新しい教育プログラムが試行されている。

このパネルディスカッションでは、実験的な教育プログラム試行事例の報告を受けたうえで、都市計画分野のみでなく、さまざまな専門領域のパネリストと都市設計・計画の位置づけを議論し、「都市設計・計画」教育のあるべき姿を議論したいと考えている。